

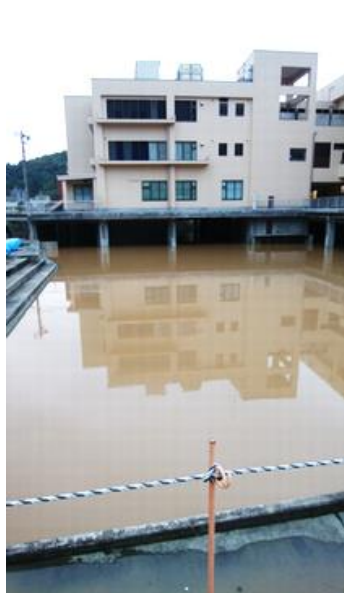
(12) 災害対策費

事業名	災害対策費（一般管理費）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
事業開始年度	平成 30 年度	事業進捗率 100 %		項	01	総務管理費
担当部署	桜江支所	総務係		目	01	一般管理費
事業費		1,573,027 円	事業の目的・目標	平成30年7月豪雨災害における支所での消耗品等の調整（損失分（コーンや電池など）の補充を含む）。桜江総合センター1階水没による修繕。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	1,573,027 円				

施策の内容、実績、及び効果

節	細節	執行額 (円)	主な執行内容
需用費	消耗品費	528,495	・災害時使用し消耗した物品の補充。 ・災害対応および関連事務に必要な消耗品。 例)コーン、シート、インク、電池、用紙、台車など
	修繕料	759,240	・桜江総合センター1階が水没したため、地盤清掃修繕、エレベータ修繕、電源移設修繕を実施。
役務費	通信運搬費	8,920	・切手代。
	手数料	234,252	・桜江総合センター1階が水没した際の排水処理(ポンプアップ)手数料。 ・避難者が利用した座布団等のクリーニング料。
備品購入費	庁用備品購入費	42,120	・桜江総合センター1階の館内用木製ゴミ箱が水没で破損したため更新として購入。
合計		1,573,027	

下写真は桜江総合センター1階水没状況（平成30年7月7日 午後7時頃）



事業名	災害対策費（地域振興費）			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	02	総務費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	総務管理費
担当部署	政策企画課		地域振興係		目	09	地域振興費	
事業費			6,162,600 円		事業の目的・目標	災害に対する経費		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		6,162,600 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

①川越地域コミュニティ交流センターの被災により、交流センター機能が不能となったため、当面の措置として、休止施設となっていた「水ふれあい公園水の国」へ機能を仮移転し、機能復帰を図った。

◇支出の内訳

需用費		
消耗品費	181,808 円	事務用品等
燃料費	385,020 円	灯油代
光熱水費	1,115,987 円	電気、ガス、水道代
修繕料	1,764,557 円	ブロワー、電磁弁交換、冷房等
役員費 手数料	50,960 円	浄化槽法定点検、データ復旧
委託料	269,640 円	浄化槽管理業務、消防用設備点検
備品購入費	1,031,028 円	事務機器、冷蔵庫、液晶テレビ、ストーブ等
負担金及び交付金	100,000 円	組織運営費

②定住促進住宅（大貫）として江津市が借用している家屋の被災により、住居としての機能が損なわれたため、これを復旧するための修繕を行った。

◇支出の内訳

工事請負費	1,263,600 円	大貫第一住宅修繕工事
-------	-------------	------------

○事業の効果

市の管理する地域コミュニティ交流センターと、定住促進住宅の被災に対する措置を行った。川越地域コミュニティ交流センターは休止状態にあった「水ふれあい公園水の国」へ仮移転し、通常地域コミュニティ活動が可能となった。大貫の定住促進住宅は住居機能を復旧するための修繕後、所有者へ返還を行った。

事業名	災害対策費（地域開発費）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
事業開始年度	平成 30 年度	事業進捗率 100 %		項	01	総務管理費
担当部署	商工観光課	商工振興係		目	10	地域開発費
事業費					810,000 円	事業の目的・目標 平成30年7月豪雨災害の復旧。
財源内訳	国庫支出金				円	
	県支出金				円	
	地方債				円	
	その他				円	
	一般財源				810,000 円	

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

平成30年7月豪雨により、国道261号沿いのバス停4カ所で、標識の破損被害が生じた。バス利用者の利便性に影響することから、バス停標識を復旧した。

【復旧したバス停標識】

- ・ 櫃原（松川町長良）
- ・ 上長良（松川町長良）
- ・ 榎谷口（桜江町大貫）
- ・ 坂本橋（桜江町坂本）



櫃原（被災時）



榎谷口（被災時）



櫃原（復旧後）



榎谷口（復旧後）

○事業の効果

標識の復旧により、バス利用者の利便性を回復することができた。

事業名	災害対策費（情報システム費）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
事業開始年度	平成 30 年度	事業進捗率 100 %		項	01	総務管理費
担当部署	総務課	情報統計係		目	14	情報システム費
事業費					1,968,479 円	事業の目的・目標 平成30年7月の豪雨災害におけるCATV設備の修繕
財源内訳	国庫支出金				0 円	
	県支出金				0 円	
	地方債				1,968,479 円	
	その他				0 円	
	一般財源				0 円	

施策の内容、実績、及び効果

- 平成30年7月の水害により、CATV事業で整備したPS（無停電電源供給器）及びブレーカーが浸水したため修繕する。
対象は田津1、大貫2、川平1の計4箇所4基分。
PSが機能しない場合、瞬停等に対応できなくなるため早急な対応が必要。
- 契約日：平成30年7月11日
実施完成日：平成30年7月13日
検査日：平成30年7月20日

電柱番号：CU55NW1（川平）



電柱番号：DU73NW1（大貫）



電柱番号：ED77NE2（田津）



電柱番号：DX73NW1（大貫）

事業名	災害対策費（諸費）			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	02	総務費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	総務管理費
担当部署	総務課		行政係		目	18	諸費	
事業費			28,884 円		事業の目的・目標	平成30年7月豪雨により被災した生徒及び保護者の負担軽減を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		28,884 円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●平成30年7月豪雨災害による被災者への支援

①7月豪雨の被災者への就学援助事業（県単独補助事業 補助率10/10）

平成30年7月の豪雨災害による被災世帯の生徒の就学に係る負担軽減を図るため、学用品費等に係る経費を助成する。

●事業の実績

区分	決算額（円）	備考
学用品	11,880	対象人員 1 人 島根中央高校
学用品	17,004	対象人員 1 人 矢上高校
合計	28,884	

事業名	災害対策費（税務総務費）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 30 年度	事業進捗率	%		項	02	徴税費
担当部署	税務課		収納係		目	01	税務総務費
事業費		106,809 円		事業の目的・目標	平成30年7月豪雨災害において、全国から寄せられた義援金を被災者へ効率的に配分できるよう「江津市平成30年7月豪雨災害義援金配分委員会」を設置。早期の配分を行い、被災者の生活再建の一助となることを目的とする。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	円					
	一般財源	106,809 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 「江津市平成30年7月豪雨災害義援金配分委員会」の設置、開催（報償費・旅費）
配分額、配分方法等の検討、決定
- 被災者への義援金に関する案内（需要費・役務費）
申請書、振込通知等の送付

○事業の成果

●被災者への義援金配布

1. 江津市がお預かりした義援金総額・・・129,776,905円
（内訳）

島根県配分委員会配分額	121,299,194円
江津市受付額	8,477,706円
雑入（預金利息）	5円

2. 配分額（1世帯あたり）

	世帯数 (182)	県配分額			市配分額				一世帯あたりの 配分額
		1次配分	2次配分	3次配分	1次配分	2次配分	3次配分	4次配分	
全額	41	600,000	400,000	325,670	30,000	0	16,493	2,758	1,374,921
大規模半壊	33	300,000	200,000	162,835	30,000	0	16,493	2,758	712,088
半壊	66	300,000	200,000	162,835	30,000	0	16,493	2,758	712,088
一部損壊	42	0	0	0	30,000	20,000	16,493	2,758	69,251
									(129,776,817)

※残余金88円については、江津市の災害関連事業に充当。

事業名	災害対策費（社会福祉総務費）			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	03	民生費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	社会福祉費
担当部署	社会福祉課		地域福祉係		目	01	社会福祉総務費	
事業費			30,682,039 円		事業の目的・目標	平成30年7月豪雨により住宅に被害を受けた世帯に対し、支援金の支給や災害援護資金の貸付を行うことにより生活再建を支援する。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		13,957,000 円					
	地方債		2,500,000 円					
	その他		円					
	一般財源		14,225,039 円					

施策の内容、実績、及び効果

●被災者生活再建支援金

・内容

平成30年7月豪雨により住宅に被害を受けた世帯のうち、その被害の程度により「被災者生活再建支援法」に基づく支援金の支給対象とならない世帯に対し、生活再建支援のための支援金を支給する。（半壊及び一部破損は、県 1/2補助、小規模破損は、全額市費負担）

・支給実績

浸水深	建物損害割合		世帯区分	世帯数	支援金額（円）
床上浸水 (1.0m 未満)	半壊 (20%以上 40%未満)		複数世帯	23	17,850,784
			単数世帯	17	10,063,755
床下浸水	一部 損壊	一部破損 (10%以上 20%未満)	複数世帯	0	0
			単数世帯	0	0
		小規模破損 (1%以上 10%未満)	複数世帯	4	267,500
			単数世帯	0	0
合計				44	28,182,039

・効果

被災した世帯の居住の安定を確保し、早期の生活再建を促す。

●災害援護資金貸付金

・内容

平成30年7月豪雨により、住宅に被害を受けた世帯に対し、「災害弔慰金の支給等に関する法律」に規定する災害援護資金を貸し付ける。（貸付原資負担 国2/3 県1/3）

・貸付実績

被害程度	世帯数	貸付金額（円）
全壊	1	2,500,000

・効果

被災した世帯の早期の生活再建を促す。

事業名	災害対策費（予防費）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	04	衛生費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	保健衛生費
担当部署	健康医療対策課		健康増進係		目	03	予防費
事業費			1,295,281 円	事業の目的・目標	平成30年7月豪雨により浸水した家屋等に対し、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）に基づき、薬剤散布による消毒を実施する。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		807,348 円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		487,933 円				

施策の内容、実績、及び効果

○ 内容

平成30年7月豪雨により浸水した家屋等に対し、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）に基づき、薬剤散布による消毒を実施した。

被災件数・建物の種別		床上浸水	床下浸水	その他浸水	消毒件数
住家	152	111	41		117
空き家	52	37	10	5	33
会社・事務所・店舗	9	7	2		6
非住家（会館、集会所、宿坊、消防格納庫、自然館）	8	7	1		4
倉庫・納屋・作業所・車庫	54	12	29	13	25
家の周り	3			3	2
合計	278	174	83	21	187

消毒件数には「自己消毒申出による消毒薬配付」を含まない

需用費 消耗品費	907,947
需用費 燃料費	108,000
需用費 修繕料	123,068
役務費 通信運搬費	8,594
役務費 自動車損害保険料	4,672
使用料及び賃借料 自動車借上料	143,000
合計	1,295,281

事業名	災害対策費（環境衛生費）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	04	衛生費
事業開始年度	平成 30 年度	事業進捗率 %		項	01	保健衛生費
担当部署	市民生活課	生活環境係		目	06	環境衛生費
事業費		645,850 円	事業の目的・目標	平成30年7月6日から7日にかけて発生した豪雨災害に伴う災害廃棄物処理		
財源内訳	国庫支出金	159,000 円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	486,850 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業費と内容

区 分	金 額 (円)	内 容
役 務 費	645,850	し尿等汲取り手数料 618,440 円 衛生処理施設手数料 27,410 円

○し尿等処理量の実績

区 分	地 区 名	処 理 量 (ℓ)
便槽	江津地区	20,232
	桜江地区	35,550
仮設トイレ	桜江地区	2,556
計		58,338

○施策の効果 災害廃棄物のし尿等汲取りによる公衆衛生と生活環境の保全

事業名	災害対策費（清掃総務費）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	04	衛生費
事業開始年度	平成 30 年度	事業進捗率 %		項	02	清掃費
担当部署	市民生活課	生活環境係		目	01	清掃総務費
事業費		7,962,895 円	事業の目的・目標	平成30年7月6日から7日にかけて発生した豪雨災害に伴う災害廃棄物処理		
財源内訳	国庫支出金	3,821,000 円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	4,141,895 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業費と内容

区 分	金 額 (円)	内 容
修 繕 費	153,360	リサイクルステーション修繕料
役 務 費	167,000	リサイクルステーション処分手数料
負 担 金	7,642,535	浜田地区広域行政組合負担金（可燃物処理）

○災害ごみ（可燃物）処理量の実績

区 分	処 理 量 (t)
可 燃 物	577.1

○災害ごみ処理の成果

公衆衛生の確保と住民生活の早期回復のため、被災地域の災害廃棄物に含まれる可燃物の処理等を短期間で行った。



事業名	災害対策費（塵芥処理費）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	04	衛生費
事業開始年度	平成 30 年度	事業進捗率 %		項	02	清掃費
担当部署	市民生活課	施設管理係		目	02	塵芥処理費
事業費		25,810,473 円	事業の目的・目標	平成30年7月6日から7日にかけて発生した豪雨災害に伴う災害廃棄物処理		
財源内訳	国庫支出金	12,827,000 円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
一般財源	12,983,473 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業費と内容

区 分	金 額 (円)	内 容
消 耗 品 費	73,459	保管場所案内看板・カラーコーン外
燃 料 費	100,403	積込運搬業務ガソリン代
委 託 料	23,444,211	災害廃棄物収集運搬業務 23,098,611 円 仮置場復旧整備設計業務委託料 345,600 円
工 事 請 負 費	2,192,400	仮置場（川越）復旧整備工事

○災害ごみ処理量の実績

区 分	処 理 量 (t)
可 燃 物	577.1
不 燃 物	176.1
処理困難物	17.0
廃 家 電	28.4
合 計	798.6



○災害ごみ処理の成果

公衆衛生の確保と住民生活の早期回復のため、川越地区と川戸地区に災害ごみの集積所を設けるとともに被災地域を巡回する特別収集を行った。

事業名	災害対策費（不燃物処理場費）		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	04	衛生費	
事業開始年度	平成 30 年度	事業進捗率		%	項	02	清掃費
担当部署	市民生活課	施設管理係		目	04	不燃物処理場費	
事業費		12,517,205 円		事業の目的・目標	平成30年7月6日から7日にかけて発生した豪雨災害に伴う災害廃棄物処理		
財源内訳	国庫支出金	2,145,000 円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	1,249,820 円					
	一般財源	9,122,385 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業費と内容

区 分	金 額 (円)	内 容
修 繕 費	6,759,482	島の星クリーンセンター破砕機修繕工事外
手 数 料	5,703,733	廃家電処理委託手数料 2,947,897 円 処理困難物処理手数料 1,512,756 円 不燃物処理施設手数料 1,169,640 円 重機回送手数料 73,440 円
委 託 料	53,990	仮置場ごみ分別業務委託料

○災害ごみ処理量の実績

区 分	処 理 量 (t)
可 燃 物	577.1
不 燃 物	176.1
処理困難物	17.0
廃 家 電	28.4
合 計	798.6



○災害ごみ処理の成果

公衆衛生の確保と住民生活の早期回復のため、被災地域の災害廃棄物に含まれる不燃物の適正処理を行った。

事業名	災害対策費（農業総務費）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	06	農林水産業費
				項	01	農業費
				目	02	農業総務費
事業開始年度	平成 30 年度	事業進捗率	%			
担当部署	農林水産課	農業振興係				
事業費		410,480 円		事業の目的・目標	平成30年7月6日からの大雨により被災した農地、農業用施設及び農業用機械等の復旧対策を実施することにより、被害の拡大防止を支援する。	
財源内訳	国庫支出金	0 円				
	県支出金	0 円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	410,480 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

(単位：円)

事業主体	事業種目（または内容）	事業費	事業に要した経費(県+市)	負担区分		
				県	市	その他
[災害対策費]						
1、農地及び農業用施設等災害復旧対策						
江津市	被害量の把握	53,000	53,000	0	53,000	0
2、波積南水道組合深井戸水中ポンプ修繕						
江津市	水中ポンプ修繕、取替え	357,480	357,480	0	357,480	0
合計		410,480	410,480	0	410,480	0

1、農地及び農業用施設等災害復旧対策

[内容]

農地及び農業用施設等の被害量調査の実施

- ・被害箇所調査票等の送付

53,000 円

計 53,000 円

2、波積南水道組合深井戸水中ポンプ修繕

[内容]

平成30年7月6日からの大雨以降、波積南水道組合深井戸水中ポンプに不具合が生じ修繕した。

- ・水中ポンプ（リザーブポンプ）修繕

91,800 円

- ・水中ポンプ取替

265,680 円

計 357,480 円

○事業の効果

- ・施設の現状復旧を図った
(復旧前)

(復旧後)



事業名	災害対策費（農業振興費）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	06	農林水産業費
事業開始年度	平成 30 年度	事業進捗率 %		項	01	農業費
担当部署	農林水産課	農業振興係		目	03	農業振興費
事業費		106,407,496 円	事業の目的・目標	平成30年7月6日からの大雨により被災した農地、農業用施設及び農業用機械等の復旧対策を実施することにより、被害の拡大防止及び早期の営農再開を支援する。		
財源内訳	国庫支出金	0 円				
	県支出金	80,428,500 円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	25,978,996 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

(単位：円)

事業主体	事業種目（または内容）	事業費	事業に要した経費（県+市）	負担区分		
				県	市	その他
[災害復旧対策費]						
1、川越生活改善センターの復旧						
江津市	施設修繕	1,287,496	1,287,496	0	1,287,496	0
2、江津市鳥獣被害対策協議会補助金						
江津市鳥獣被害対策協議会	農業用施設修繕	1,570,591	1,500,000	0	1,500,000	70,591
3、農地及び農業用施設等災害復旧対策事業費補助金						
被災した農業者	農地・農業用施設等の復旧	9,700,254	3,102,000	0	3,102,000	6,598,254
4、江津市被災農業者向け経営体育成支援事業費助成金						
被災した農業者	農業用機械等の復旧	127,613,407	100,518,000	80,428,500	20,089,500	27,095,407
合計		140,171,748	106,407,496	80,428,500	25,978,996	33,764,252

1、川越生活改善センターの復旧

[内容]

被災した公共施設の現状復旧を図る。

- ・ 施設内損壊箇所復旧工事 864,000 円
- ・ 消防設備等修繕 423,496 円

計 1,287,496 円

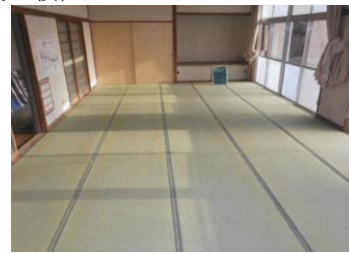
○事業の効果

- ・ 被災した公共施設の現状復旧を図った。

(復旧前)



(復旧後)



2、江津市鳥獣被害対策協議会補助金

[内容]

江津市鳥獣被害対策協議会に補助金を交付し、被災した獣害防護柵の復旧を支援する。

- ・ 復旧した防護柵の延長 1,280m (11地区) 1,500,000 円

計 1,500,000 円

○事業の効果

- ・ 獣害防護柵の現状復旧を図り、獣害の拡大を防止した

3、農地及び農業用施設等災害復旧対策事業費補助金

[内容]

被災した農業者に対し補助金を交付し、農地及び農業用施設等の復旧対策を支援する。

(1) 支援内容

- ・ 補助対象経費：国、県の復旧対策事業の対象とならない復旧対策に係る経費
- ・ 補助率：1／3以内かつ10万円を上限

(2) 支援実績

- ・ 57経営体、復旧対策59件

[内訳]

・ 農地に係る復旧対策		
土砂の撤去等	10件	627,000 円
・ 農業施設に係る復旧対策		
揚水ポンプ等の再取得・修理	13件	533,000 円
・ 農業用機具・園芸用施設に係る復旧対策		
管理機等の再取得・修理	36件	1,942,000 円

計 3,102,000 円

○ 事業の効果

- ・ 被害の拡大防止及び営農再開を支援
 倒伏した桑の撤去 (大貫)



倒壊した防護柵の復旧 (大貫)



4、江津市被災農業者向け経営体育成支援事業費助成金

[内容]

被災した農業者に対し助成金を交付し、機械・施設の再取得、修繕等を支援する。

(1) 支援内容

- ・ 補助対象経費：①機械・施設等の再取得、修繕、②施設等の撤去
- ・ 補助率：①5／6以内、②定額

(2) 支援実績

- ・ 52経営体、復旧対策162件

[内訳]

・ 機械等の再取得			
トラクター、無人ヘリコプター等	47経営体	109件	95,463,000 円
・ 機械等の修繕			
ウイングハロー、トラクター等	15経営体	50件	4,773,000 円
・ 施設等の撤去			
倒壊した農業用機械倉庫の撤去	3経営体	3件	282,000 円

計 100,518,000 円

○ 事業の効果

- ・ 被害の拡大防止及び営農再開を支援

トラクター (60馬力) 再取得 (小田)



無人ヘリコプター 再取得 (小田)



事業名	災害対策費（農地費）		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	06	農林水産業費	
事業開始年度	平成 30 年度	事業進捗率		%	項	01	農業費
担当部署	農林水産課	農林土木係			目	05	農地費
事業費		590,937 円		事業の目的・目標	平成30年6月28日から7月8日までの大雨により被災した農業用施設の復旧対策を実施する。		
財源内訳	国庫支出金	0 円					
	県支出金	0 円					
	地方債	円					
	その他	590,937 円					
	一般財源	円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

(単位：円)

事業主体	事業種目（または内容）	事業費	事業に要した経費(県+市)	負担区分		
				県	市	その他
[災害対策費]						
1、江津市江の川地域開発基金事業						
江津市	揚水機ポンプ・モーター取替、管路修繕	590,937	590,937	0	590,937	0
合計		590,937	590,937	0	590,937	0

1、江津市江の川地域開発基金事業

[内容]

平成30年7月豪雨災害によって被災した揚水機ポンプとモーターと管路に不具合が生じ修繕した。

・ポンプ修繕	86,940 円	
・モーター修繕	450,144 円	
・管路修繕	53,853 円	
		計 590,937 円

○事業の効果

- 施設の現状復旧を図った
(復旧前)

(復旧後)



事業名	災害対策費（商工振興費）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	07	商工費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	商工費
担当部署	商工観光課		商工振興係		目	02	商工振興費
事業費			2,677,000 円	事業の目的・目標	平成30年7月豪雨災害の復旧。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		1,337,000 円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		1,340,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○ 事業の内容

平成30年7月豪雨災害で、江の川沿岸を中心に、事業所の被害が生じた。本市の産業・経済への影響を最小限にとどめるため、被災事業所の復旧事業に対し、島根県と協調して補助金を交付した。

【補助対象経費】

災害復旧に要する修繕費・備品購入費等

【補助率及び補助限度額】

補助対象経費の3分の2、最高200万円まで補助

○ 事業の実績

・ 5件 補助金交付額2,677,000円



←被災写真（理髪店）
（床上浸水により建物
損壊、設備使用不能）



災害復旧後→
（理容イス等設備の
更新、建物の修繕）

○ 事業の効果

補助事業により、早期に施設・設備を復旧し、営業再開につながった。これにより、本市の産業・経済への影響を低減することができた。

事業名	災害対策費（観光費）			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	07	商工費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	商工費
担当部署	商工観光課		観光振興係		目	03	観光費	
事業費			750,700 円		事業の目的・目標	平成30年7月の豪雨災害の復旧事業		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		750,700 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

次の方を対象に、平成30年7月9日から9月10日までの期間、風の国温泉無料入浴事業を、7月9日から7月14日までの期間、無料送迎バス事業を行った。

- ①豪雨により被災した方とその家族
- ②断水した地域の方とその家族
- ③災害ボランティア

○事業の実績

無料入浴利用人数 大人868人、子ども33人、災害ボランティア113人 合計1,014人
 無料送迎バス利用者 29人

区 分	決算額 (円)	内 容
報償費	331,200	バス借上げ6日間（燃料費、人件費含む）
使用料及び賃借料	419,500	入浴料1,014人分
合 計	750,700	

○事業の効果

厳しい生活が強られる被災者とその家族、また、猛暑の中での復旧支援をしていただいたボランティアの皆様に、癒しのひとときを送っていただくことで、観光面からの被災者支援ができたと感じる。

また、地域における風の国の価値を上げることができた。

事業名	災害対策費（都市計画総務費）			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	08	土木費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	都市計画費
担当部署	都市計画課		建築指導係		目	01	都市計画総務費	
事業費			18,640,526 円		事業の目的・目標	豪雨や地震等により被災した住宅・建築物の修繕や応急修理等を速やかに行い、避難生活の早期解消を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		16,832,606 円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		1,807,920 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

- 災害救助法の適用に伴い、被災した民間住宅の応急修理を行った。
- 被災した方を市営住宅に一時入居させるために、空き室の修繕やクリーニングを行った。

単位：円

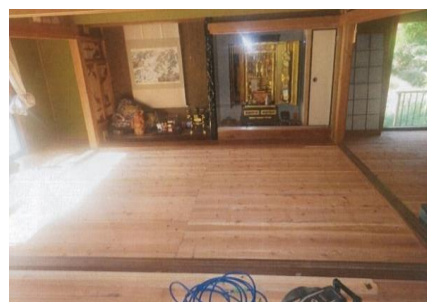
区分	項目	予算額	決算額	備考
需用費	光熱水費	0	9,180	
	市営住宅今田団地水道使用料		7,560	
	市営住宅今田団地生活排水処理施設使用料		1,620	
	修繕料（民間住宅）	43,800,000	16,832,606	
	被災住宅応急修理：50件		16,832,606	
	修繕料（市営住宅）	2,000,000	1,598,400	
	市営住宅浅利旭団地219号修繕 市営住宅浅利旭団地207号修繕		799,200 799,200	
役務費	手数料	0	200,340	
	市営住宅今田団地ハウスクリーニング（5戸）		200,340	
合計		45,800,000	18,640,526	



【着手前】



【床組】



【床板張り】



【完了】

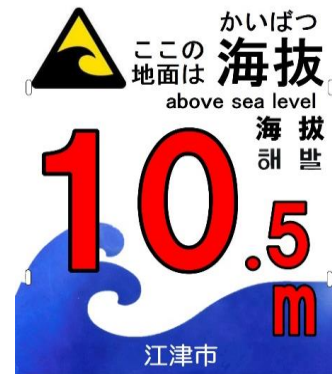
事業名	災害対策費			予算科目	会計	01	一般会計
					款	09	消防費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	消防費
担当部署	総務課		防災係		目	05	災害対策費
事業費		15,789,359円		事業の目的・目標	地域防災力の強化促進を図り、市民の生命・身体・財産を守る。また、災害対策、災害対応を臨時的に行う。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	1,490,000円					
	その他	200,000円					
	一般財源	14,099,359円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- ・災害対策費1 2,064,544円
 - 需用費 667,802円
 - 海拔表示板取替 2件
 - 防災食更新 他
 - 旅費 116,650円
 - 役務費 74,546円
 - 海拔表示板移設 11件
 - 使用料及び賃借料 259,866円
 - 備品購入費 49,680円
 - 負担金 896,000円
 - 島根県防災情報システム管理費負担金

【海拔表示板】



- ・災害対策費2 (平成30年7月豪雨関連) 13,724,815円
 - 報酬 2,394,000円
 - 消防団員出動手当 出動人数 延665名
 - 需要費 5,834,416円
 - 避難者用食事代
 - 防災・消防資機材修繕
 - 備蓄品補充 など
 - 委託料 2,048,879円
 - 防災行政用無線復旧業務 など
 - 役務費 840,704円
 - 災害用毛布リパック など
 - 使用料及び賃借料 559,136円
 - 災害復旧車両借上料 など
 - 備品購入費 2,047,680円
 - 消防資機材の故障による更新 (小型ポンプ他)

【消防資機材 (小型ポンプ)】



【消防ホース】



○事業の効果

- ・備蓄品などの整備により、地域防災力を維持・強化することができた。
- ・消防団員の迅速な対応や資機材の更新等により、早期の復旧に繋がり、新たな災害に備えることができた。

【消防団員による瓦礫撤去作業】



事業名	災害対策費（小学校管理費）			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	小学校費
担当部署	学校教育課				目	01	学校管理費	
事業費						47,284 円	事業の目的・目標 平成30年7月豪雨により被災した児童生徒及び保護者の負担軽減を図るため、教科書の無償給与の他、学用品費、通学用品費や給食費等の援助を行う。	
財源内訳	国庫支出金					円		
	県支出金					46,934 円		
	地方債					円		
	その他					円		
	一般財源					350 円		

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●平成30年7月豪雨災害による被災者への支援

①7月豪雨の被災者への就学援助事業（県単独補助事業 補助率10/10）

平成30年7月の豪雨災害による被災世帯の児童・生徒の就学に係る負担軽減を図るため、学用品費、通学用品費、学校給食費等に係る経費を助成する。

●事業の実績

区分	決算額（円）	備考
学用品費等	8,610	対象人員 1人 学用品費・通学用品費
学校給食費	32,940	対象人員 1人
PTA会費	2,800	対象人員 1人
合計	44,350	

②7月豪雨の被災者への教科書の無償配布（災害救助法適用）

被災によって教科書を喪失又は破損した生徒に対し、無償で再給与を行った。

●事業の実績

費目	決算額（円）	備考
消耗品費	2,934	対象人員 1人 国語・算数・社会・理科・家庭科・図画工作・保健各1冊

事業名	災害対策費（中学校管理費）		予算科目	会計	01	一般会計		
				款	10	教育費		
事業開始年度	平成	年度		事業進捗率	%	項	03	中学校費
担当部署	学校教育課			目	01	学校管理費		
事業費		60,200 円		事業の目的・目標	平成30年7月豪雨により被災した児童生徒及び保護者の負担軽減を図るため、学用品費、通学用品費や給食費等の援助を行う。			
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	60,000 円						
	地方債	円						
	その他	円						
	一般財源	200 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●平成30年7月豪雨災害による被災者への支援

7月豪雨の被災者への就学援助事業（県単独補助事業 補助率10/10）

平成30年7月の豪雨災害による被災世帯の児童・生徒の就学に係る負担軽減を図るため、学用品費、通学用品費、学校給食費等に係る経費を助成する。

●事業の実績

区分	決算額（円）	備考
学用品費等	15,540	対象人員 1人 学用品費・通学用品費
学校給食費	37,210	対象人員 1人
PTA会費・生徒会費	7,450	対象人員 1人
合計	60,200	